

同窓会報メールマガジン

機 巢



KI SOU

Vol.29

岐阜工業高等専門学校 機械工学科 機巢会

目次

P-2	目次 & 会長挨拶		
P-3	総会の案内		
P-4	機械工学科の現状について	山田 実	(24期生)
P-5	岐阜高専バレーボール部揺籃期を回顧	森 良克	(1期生)
P-8	OB 紹介シリーズ	佐藤 善昭	(4期生)
P-11	MECAD ゴルフコンペ開催	若井 政伯	(9期生)
P-12	私の健康法	太田 哲也	(6期生)
P-13	編集後記		

会長挨拶

飯沼義徳 7期生

会員の皆様におかれましてはお健やかに過ごしの事と拝察いたします。日頃は機巢会の運営にご理解ご支援をいただき誠にありがとうございます。

大相撲春場所では110年ぶりの快挙 “新入幕優勝”を尊富士が成し遂げました。

横綱、大関という上位陣の活躍がいまいちのなかで、尊富士、大の里という大銀杏がゆえない若い力士が大活躍で相撲界を盛り上げました。

大相撲界は今後の若手の活躍がとても楽しみです。

機巢会においても若い会員の皆様が、今まで以上に参画していただけることを期待しています。来る5月25日(土)には定期総会を開催いたします。メールマガジン「機巢」やホームページにてご案内いたしますので多数の皆様のご参加をお待ちしています。今後とも活動的で円熟した同窓会となるために、皆様の温かいご支援、ご指導を心からお願い申し上げます。



機巢会の定時総会のご案内

本年度の定時総会を下記のように開催しますので、ご参加をお願いします。

日時：令和6年5月25日 土曜日 12時から13時
11時30分から受付をします。

場所：岐阜キャスルインイン 10階 ダイニングてっぺん
岐阜市県町2-8 名鉄岐阜駅より徒歩5分

総会終了後に昼食を用意しています。参加費は無料です。
ビール等も用意しますので飲まれる方はお車はご遠慮ください。

機巢会 HP (<https://gifu-nct.com/>) より参加表示をお願いします。
又は事務局 太田の携帯 090-3934-1536 に連絡ください。



機械工学科の現状について

機械工学科 山田実

入学式に合わせたかのように駐車場にある枝垂れ桜が見頃となり、新入生を迎えていました。

【令和5年度進路】

令和5年度卒は42名で、その内就職が22名、進学が20名と就職・進学がほぼ同数となっています。就職先は次の通りです。

東レ・カーボンマジック、中部電力、三菱重工業、サントリー、味の素、ジェイテクト、豊田中央研究所、村田機械、LIXIL、DMG 森精機、東海交通機械、浜松ホトニクス、JERA、カルビー、旭化成、太平洋工業、ソニーGM&O、JR 東海、メタウォーター、アイコクアルファ、岐阜ギヤー工業、出光興産（順不同）



駐車場の枝垂れ桜

JR 東海、旭化成、中部電力、サントリーはここ20年で機械工学科から就職した人数のトップ5に入っています。

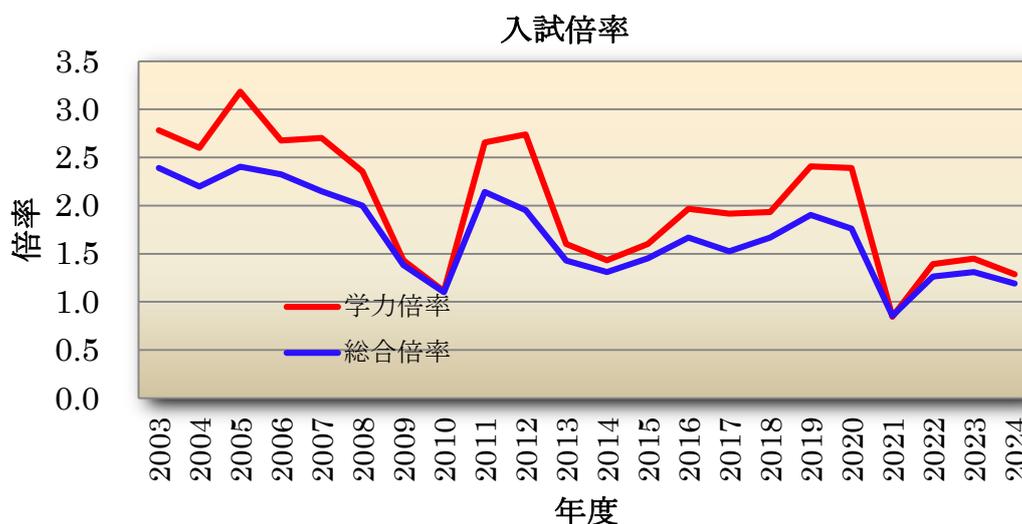
進学先は次の通りです。

岐阜大学4名、金沢大学1名、名古屋大学1名、名古屋工業大学2名、東京都市大学1名、大阪大学2名、九州大学2名、長岡技術科学大学3名、豊橋技術科学大学1名、岐阜高専専攻科3名。

岐阜大学をはじめ東海北陸地方の大学や両技科大への進学者が多いです。東京、関西、九州の大学に行く学生もいます。

【令和6年度入学】

令和6年度1年次に入学した学生の入試では、推薦合格者が14名、学力合格者が28名でした。学力・推薦を合わせた定員に対する倍率（総合倍率）は1.25です。機械工学科は倍率が下がりましたが、学校全体では総合倍率が1.87で昨年の1.42より大きくあがっています。下のグラフに示すように機械工学科の倍率は最近、減少傾向にあります。ただし、今年は機械工学科に女子学生が9名入学し、学科全体でも27名と増えています。学校全体の入学者も今年は約3分の1が女子学生でした。



岐阜高専 バレーボール部揺籃期を回顧

森 良克 1 期生

坂井、渡辺両氏のご尽力で来る4月3日に2006年以來のOB/OG 会が開かれるということで喜んでいますが。前回は北海道に勤務中で参加できませんでしたので皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

参加メンバーの名簿を拝見すると全員、還暦を過ぎ、一部の方は古希、私は今年6月に喜寿を迎えるというように着実に年が積み上がっています。

LINE のトークを読んでいると皆さんがそれぞれの分野で大活躍されてきたことが窺い知れます。又、その後の第二の人生も着実に、楽しく、元気に過ごされているようでご同慶の至りです。一方で、何人かの方々が不幸にしてお亡くなりになっています。心より、お悔やみ申し上げます。

さて、OB/OG 会開催に当たって、創部当時のことを書いて欲しいという坂井さんのご要望に答えるべく、60年前の記憶を思い起こしながら、簡単にまとめてみます。書き始めると鮮明に思い出すこともありますが、思い出せないこと、曖昧な記憶が多いことに気づき、情けなさを感じます。誤った記述があれば訂正を、又、追加でのエピソードがあればお聞かせください。



1. バレーボール部の設立と当時のメンバー

鵜沼の仮校舎から、本巢の本校舎へ移転した時が2期目の開始で環境も整備されつつあり、学校の方針で野球、サッカー、バスケットボール、柔道等と共にバレーボール部の設立は決まっていたと思います。ところが野球、サッカー等、人気スポーツはメンバーがすぐに集まりましたが、バレーボールは入部希望者が少なく、1期生ではOさん、Hさん、Mさん等々。私は中学時代陸上競技の短距離をやっていたので陸上部も考えたのですが、陸上部も今一人気なく、それならとバレーボール部に手を挙げた次第。全員バレーボールの経験はさほどなかったようで、又、私を含めて身長も高くなく、これがバレーボール部のメンバーか？という状態でした。

同時に募った2期生の塩谷さん、渡部さん、竹中さん等の入部でちょっとだけ格好がつき、その後、3期生の星屋さんや広瀬さん等の入部で、ようやくそれらしい形になってきました。以降は皆さんがご存じの通り。他の部の輩からは当初「あれがバレーボール部か？ 大丈夫か！」と揶揄された記憶もあります。

2. 練習

当初、体育館はなく、赤土のグラウンドで練習。練習の仕方も良くわからず、関連本を読んで実践練習。自らの陸上経験もあって、走ることは基本と藪川へのランニングとか実施。ボールを使っての練習は経験者の意見を聞きながら自分たちで独自にプログラムをたててした記憶があります。それでもランニングをはじめ、結構ハードなものだったとその時は手前勝手(?)に思っていました。近くのお寺を借りての夏季合宿もかすかに記憶があります。

3. 練習場

最初、体育館は建設中で使えなく、基本は赤土のコートで。雨の時は建物の間の通路で練習。体育館の使用は2年目の終わり頃からか？ 柔道やバスケットボール等体育館で行うクラブが多く、割当制だった記憶があります。

そんな土曜日の午後、練習開始に向けて、コートにネットを張っている時に、双発のヘリコプター（各務ヶ原の川崎重工製）がコートの際に建設中の体育館の基礎工事の穴に墜落し、プロペラが回転しながら破損、飛散するという事故が発生し、命が危うかったことを思い出します。昼休憩中の作業の方々は慌てて退避、バレー部員2、3人も身がすくみ、固唾をのんで見ていました。それでも乗員をはじめ、けが人がなく不幸中の幸いでした。その日の内にシートで覆いながら機体の回収が終了という素早いもので、聞くところではエンジンの不調で高専の広いグラウンドに不時着しようとしたが、狙った位置にうまく着陸できず、あのような事態になったとか。

4. 試合

それでもそのうちに試合もできるようになり、練習試合を申し込み（誰がどのように交渉したのか？）お隣の本巢高校とか、岐南工業：強豪だったがよく相手にしてもらえたものです。高専のやつを打ちのめしてやろう？ 相手は勿論、控選手だったのでしょ！

5. 顧問の先生

顧問は当初は英語の高橋先生で練習には顔出しなし。公式試合だけは監督として、采配を振るわれたが……。確か、豊田高専での大会で、タイムアウトをとった時に失敗した選手が頭を「ピコピコハンマー」でたたかれ、ポンポンと音がするので、会場の失笑をかい、なんと恥ずかしかったことか！

その後も名ばかりの澤田先生、そしてようやく5期目で橋浦先生が着任され、形も整い、練習もスパルタ式で熱を帯びてきたのは皆さんも経験済みです。やはり強力で熱意のある顧問の先生のいるところは強いということですね！

私の5年生の卒研は「永井研究室」で「カミソリ替刃の熱処理」がテーマで橋浦先生が助手でしたのでバレーボールとの両面でお世話になり感謝しています。

我々が卒業してからですが橋浦先生が事務職員の「Sさん」と結婚され、社宅にお住まいでした。研究室の仲間と押し掛け、冷やかし、騒いだことを思い出します。

6. チームワーク

弱小チームでしたが、チームワークは良かった（手前勝手？）と思い込んでいます。私は自宅（穂積中学校出身、今の瑞穂市）から通学していました。5回生の時に実家で「すき焼きパーティ」をしたことがありました。20名ほどが集まったと思いますが、私の母親が息子も卒業間近で多くの人にお世話になってきたし（お世話してきた方が正しい！）、後輩は寮生活の人が多く寂しい（？）生活だろうし、橋浦先生にも参加してもらってと腕を振るってくれました。今の時代ではとんでもない我儘を聞いてくれたものです。

7. 総括

私の高専でのバレーボールとの付き合いは4年間で終わり、その間公式試合での勝利はなし。いつだったか沼津での高専大会を応援に行きました。その時に初めて、公式試合での勝利の瞬間を目撃し、感激したことを鮮明に思い出します。

このように喜べるような思い出は少なく、ほろ苦いことが多かったですが、なぜ4年間もキャプテンを務めていたのか？と振り返って考えることがあります。一言でいえば「使命感」だったのでしょか！1期生の同輩が比較的早く退部してしまい、先輩もいない状況で何とかまとめないといけない、何よりも強くなりたかったというプレッシャーが凄かったように思います。同期生との関係も楽しかったですが、クラブ活動を通しての後輩と集う楽しさなのか？ そのように思います。このように培われた経験の多くはその後の社会人生活の至る所で活かしたのではなかったかと思う次第で岐阜高専バレーボール部に感謝です。

最後に私の卒業から現在の状況までを簡単にご紹介します。1943年に卒業、大阪の住友電気工業（株）に入社。住友電工は現在、9人制バレーボールでは日本有数の強豪ですが、入社履歴書に「バレーボール経験」と書いたばかりに、人事担当から命じられ（？）入部。球拾いばかりでしたがちょっとだけ、練習に参加しました。1年後に東京に転勤し、自動的に解放され、ほっとしたことを思い起こします。

仕事は「切削工具」の製品開発に関する業務を主に、マーケティングから、販売活動、欧米での現地生産会社設立に至るまで幅広くやりました。

その間、岐阜高専での機械学会東海支部での講演や、北海道勤務の時には旭川高専や苫小牧高専、大分高専とかで講演をしたことがあります。何れも4、5回生が対象でしたが聴講学生の表情を見ながら「自分も昔はこうだったのかな！」と考えながら話をしたことを思い起こします。

75歳で仕事を辞め、現在は10年ほど前から始めた陶芸と昨年からのフィットネス通いです。フィットネスは体の増進ではなく、維持を目指して週5回くらい。

陶芸は宝塚市の高齢者対象の「寿陶会」に所属し、週1の参加と自宅での作陶活動でケ防止に役立つ頭の活性化と手指の運動を兼ねて楽しんでいます。

私の陶芸作品の一部の写真を以下に掲載します。御笑覧ください。



陶板画「薔薇」 13cm*17cm



ワインセット デカタ 高 13cm



徳利と猪口 高 12cm

本文はバレーボール部 OB/OG 会に寄せられた寄稿文を一部訂正加筆して転載しています。

OB紹介シリーズ

企業家として活躍する同窓生4期生

鈴木工業株式会社 代表取締役 鈴木正博（旧姓坂口）
 加納自動車工業（有） 代表取締役社長 佐藤善昭（4期生）

機巢会がメルマガ発行を開始したときの機巢会会長は4期生の中野さんであったが、偶然にも4期生は、最初にOB紹介シリーズに登場された方が尾関さん（故人）や、昨年登場いただいた茶所鉄工所工場長の堀さんに登場いただいている。今回のOB紹介シリーズは4期生から2人です。鈴木正博さんと佐藤善昭さんです。

鈴木正博さんにお話を聞く

鈴木さんの旧姓は坂口さん。岐阜市内の島中学から高専に入学、実家は農家でしたが結婚を機に勤めていた会社を退社、奥様のお父さんの会社を引き継いだ。

昭和46年4月1日 高砂熱学工業(株)名古屋支店入社 主な施工建物（空調設備）
 ・名鉄レジャック・愛知医科大学病院棟・ソニー一宮工場原動力棟
 ・大阪学院大学図書館・大阪学院大学教室棟

昭和56年3月31日 退社

4月 1日 鈴木工業(株)入社 管工事 工場は豊田市
 武田機工(株)の協力会社
 トヨタ自動車の工場、関連企業の設備配管

岐阜の自宅から毎日豊田市まで通勤しました。作業先が土日稼働の工場なので水曜日休みでした。コロナの影響もあり、赤字も続き高齢になったし、43年間経営したが廃業を決意。息子と一緒に仕事をしていましたが、後継者にはならないとの事で会社を整理した。

トヨタ関連の工場が仕事先なので通勤時間や年齢的に限界を感じた。
 将来性もないので息子には継いでもらわなかった。

今はのんびりと退職後の生活を楽しまれています。

佐藤善昭さんにお話を聞く

14年ほど前、筆者が先輩の命令で若鮎会会長を務めさせていただいていたとき、佐藤善昭さんが機巢会会長でした。その後、ご多忙とのことで機巢会会長を退任されたが、そんな御縁があり、OB紹介シリーズに、是非ご登場いただきたいと思っていた。

そこで今回は、太田編集委員の事務所と近いので一緒に訪問しました。

－ 高専の頃、お父様が自動車整備工場を経営されておられたとか

現在は、岐阜市茜部が本社ですが、元々は、加納西小学校校下で自動車板金業をやっておりました。そのときの会社名は(有)加納钣金工業所でしたが、その後、加納自動車工業有限公司という名前にしました。

そういう実家でしたので、小さい頃から将来は漠然と家業を継ぐという認識しかありませんでした。中学校のときに通っていた塾の先生からも、「高専を受けてみないか」と言われて受けたという次第です。中学校は加納中学校でしたが、太田さんのお姉さんと同級生で、とても綺麗な方だったということ覚えてます。

高専卒業後は、ディーラー(日野自動車)で修業しました。整備士の資格も取りましたが、高専卒、大卒だと実務 1 年で受験できるのが良かったですね。ガソリン、ディーゼルの区別があるだけで、小型、大型の区別は無いので、車輛整備としては何でも可能です。

－ 会社を経営していて感じたこと、思ったことなどを

当社はトラック 2 t 車以上の事故修理を専門にやっています、通常の手検などはやりません。特殊な機械を使用して、ニッチな整備、特殊な作業をしていますので、仕事は続いています。バブル期には、整備待ちの車が並んでいたものです。とにかくトラック整備は忙しかった。フレーム修正機(日本で 7 台くらいしか無かった)を持っていたおかげで、他に引き受けるところがなく、仕事が回って来ていましたね。

手検工場と違って、毎日毎日ノルマ台数をこなさないといけないことはない。大型車というものは何ヶ月も修理にかかります。特にキャビンは納品に数ヶ月かかると言われています。こうした状況下で、従業員は一人で多ければ 3 台くらい抱えています。直近では板金やりながら塗装をやってくれる人が入ってくれました。とてもきれいに仕上げる人が入ってくれたので一通りのことは社内ですべて完了します。

私は 45 歳くらいで現場を上がって、お客様回りになりました。その後 H15 年ごろ社長業をやりだした当時、工場長みたいな人はいましたが、現場指示、営業を同時にやらないといけないので、大変でした。工場の職人は、年功序列みたいですがそうではありません。社長の言うことしか聞かないんです。従業員数は、最大で 10 数人いたこともありますが、現在は 6 名ほどでやっております。どの業界も共通ですが人手不足です。しかし先が読めないで人を採れません。

－ 将来、会社をどのようにしていきたいですか？

後継者問題が悩みですね。息子は別会社のサラリーマンで、バスで通っておりますし車にも乗りません。最終的には工場を閉めるということも頭を過ります。

銀行(共立)に M&A を相談したが、銀行は勝手に進めてしまうのでとりやめました。銀行が連れて来たコンサル会社を取り仕切っていて、儲けるため(手数料を得るため)には客の意向を聞かずに何でもするという感じなので断って正解でした。

－ 4期生だと、尾関さん、鈴木さん（坂口さん）、中野さん、堀さん、渡辺さんがおられますね。庭師？の渡辺さんが4期生のまとめ役と伺っています

そうですね、高専時代に堀さんの実家の茶所鉄工所で夏季実習したことがありました。その帰り道でタバコ吸ったり、悪いことをしていましたね。尾関さんが少し前に亡くなったことを聞きましたが残念です。

同窓会関係では、クラス会などの高専関係の集まりに出たことは無いですが、かつて、まとめ役の渡辺さんから、機巢会の会長をやってくれと頼まれて引き受けました。その後、私の住所表記が変更になった（茜部菱野では無くて、高田という住所だった）ためか、機巢会事務局からの連絡が途絶えてしまいました。

－ 是非とも、後輩に一言を！

私は、家業を漠然としてやってきましたが、これからの人たちは自分のやりたいことをやってほしいと思います。時々、ロボコンを見ていますが、学生が苦勞していなさそうなのが気にかかります。小さくまとまって欲しくないですね。

－ 取材を終えて

佐藤さんが機巢会の会長をやっておられたときに、同じく4期生の鈴木さんに連れられて佐藤さんの会社（加納自動車）を訪問させていただいたが、月日の経つのは早いものだ。あの頃（2010年か2011年）は丁度リーマンショックの後だったが、仕事はお忙しそうだった。ニッチな業界業種というのは景気の波の影響を受けにくい。どこかの歌手か電機メーカーの言葉ではあるが、ナンバーワンよりオンリーワンなのだろう。佐藤さんは今でもお酒を嗜まれるとのことなので、今度は同窓会でお目にかかりたいと思いながら、佐藤さんの整備工場を後にした。

（文責：15期生 中尾）

<会社情報>

〒500-8268

岐阜市茜部菱野2丁目59-1

加納自動車工業(有)

yskanojidosya@amail.plala.or.jp

お話を伺った加納自動車で
（右から太田さん、佐藤さん、筆者）



MECAD ゴルフコンペ開催！

9期 若井 政伯

3月19日（水）井深の森 CC で、恒例の MECAD ゴルフコンペが4組、14名の参加者で開催されました。

前日の強風と打って変わって絶好のコンディションでしたが砲台グリーンに苦戦し、スコアを二桁でまとめたプレイヤーは4名にとどまりました。

C3の鬼頭 保さんが、NET95 Gross99で見事優勝されました。優勝おめでとうございます。

とても楽しいコンペでした。幹事さん、ご苦労様でした。

M&E で始まったコンペですが、CAD のメンバーも加わり、コンペ名称を MECAD (メカド) コンペとすることが決定しました。次回は、6月6日かしおゴルフ場で開催が決定しています。8月末には避暑地のリゾート、14ヒルズ CC の開催も予定しています。

参加者募集しています。

申し込みは次回の幹事までお願いします。

次回の幹事は7A 渡邊浩さんです。



私の健康法

病気をしたことが無い私から一言!

太田 哲也 6 期生

私の健康法は毎朝風呂(またはシャワー)に入ることです。もちろん夜も入ります。20 代の頃、ある人から朝風呂に入ることを教えてもらいました。寝ている間にかいた汗を洗い流し新しい下着に着替えるのが健康の秘訣だと言われました。若いころから早起きをして風呂に入る習慣ができたおかげで寝坊することもなく、余裕をもって出勤することができるようになった。休みの日も同じです。大事なものは良い習慣を身につけることです。生活習慣病は万病のもとであり原因は不規則な生活です。生活習慣を良くすれば健康を維持することは可能です。早起きは三文の徳と言いますが朝早く起きることを習慣にした私は、毎日ゆっくり過ごすことができます。人よりも早めに出勤することによって混雑を避け朝ゆっくりコーヒー入れて飲むことができます。一日の計画を早い時間に立ててしまうと午前中に重要な仕事をするのが可能です。一日でやることの優先順位を3つぐらいやってしまうと、残った時間はゆっくりと過ごすことができストレスがないのです。ストレスがないことが健康法の一つであると思います。酒の席は愚痴を言ったりすることも多く、ストレスを発散すると言いますがお酒は楽しく、美味しいものを食べながら飲むものだと思います。自分の健康法を顧みると特別なことをしているわけではないと思います。

朝早く起き朝風呂にゆっくり浸かって一日の計画を立てる。これだけで健康になります。

昨年健康器具の一つとして高気圧高濃度の酸素ボックスを購入しました。スポーツ選手が疲労回復に使っているものです。なぜこれを購入したかということ人間の体は血流が良くなれば薬はいらんと思っているからです。高気圧をかけることによって血流が良くなり体の隅々まで血の巡りが良くなると思います。血の巡りが良くなり、血流が良くなると体の毒素が血液と共に出てしまい血管が詰まることがなくなります。多分脳梗塞脳卒中という血液系の病気はしないのではないかと考えています。

最近毎朝1時間半入っています。中で瞑想したりストレッチをしたり軽い体操をしたり一日の計画を立てて過ごします。外の音も聞こえないので静かに瞑想をすることができ一日の中で1時間半そういう時間を作ることは非常に気持ちをリラックスし気持ちが良い一日が過ごせます。たまに夜遅くまで飲んで朝酸素ボックスの効果で二日酔いとか眠気だとかなくなります。

会社の2階に部屋を借り置いています。私一人で使うにはもったいないのでお客様とか知っている人に安くて入ってもらいます。これからは健康に良いことは何でもしようと考えています。

この歳になるまで大病したこともなく病院のベッドで寝たこともありません。現在は薬やサプリメントも飲まず医者にも通わず非常に健康的に生活しています。

体調の悪い方や足腰が少し弱ってきた方、何かしなければいけないと思っている方はぜひご連絡ください。この酸素ボックスに入って健康について考えてください。

ぜひ長生きしてこれから急激に変化する世の中を覗いてみたいです。車が空を飛んで自動運転するところを見たいです。そんなことを考えて100歳まで生きる計画を立てています。

O₂ capsule
高気圧高濃度酸素 BOX を設置しました

高濃度酸素の摂取メリット

- 疲労回復
- 睡眠の質改善
- 視力回復
- ダイエット効果
- 美肌効果
- 成人病予防
- 老化防止
- 二日酔い防止
- 気力・集中力の増加
- ケガの早期回復・・・など

睡眠・ストレスでお悩みの方
お試しください

週2回のペースで
利用されるのが効果的です

要予約
090-3934-1536
太田まで

酸素ボックスサロン KOU

編集後記



パソコンの不具合が発生してWordが操作できなくなり編集が出来ず、発行が遅れましたこと、お詫び申し上げます。編集委員の梅田さんに直していただきました。東京から来てもらいました。春日井に来ていたらしく助かりました。ありがとうございました。パソコンや携帯電話が少し面倒になりました。

6M 太田哲也



4月6日からインドネシアのスラウェシ島（セレベス島）に行ってきます。インドネシアの主だった島全部に行く計画の一部です。残りはパプアだけになります。

9M 若井政伯



台湾でまた大きな地震が発生しました。これから梅雨に向かってゲリラ豪雨や台風もやってきます。災害対策はいくらやってもキリがありませんが、こんな機会に少しずつ買い足していきたいと思います。

9M 熊田 進



同窓会も承継が課題です。若い人たちが活動してくれる仕組みづくりを考えないといけません。若い人が入らない会社を辞めて、転職して3年。そんなことを考えています。

15M 中尾賢治



少しフライング気味な感じもしますが、今号から編集に携わらせていただいています。諸先輩や後輩に囲まれながら、楽しく記事の執筆や編集作業に当たりたいと考えています。今後ともよろしくお願ひします。写真は今より10kg痩せていた頃。

19M 鈴木宏治



進路先と入学状況について記事を書きましたが、応募書類の提出や面接などの就職活動スケジュールが、初めて就職担当した20年前より2、3週間早くなっている感じです。企業も早く囲み込みたいという事でしょうか。

24M 山田実



この4月から2015Mでお世話になった娘がマスターを修了、就職し、肩の荷がまたひとつ下りました。年度始めは瀬戸市で藤井聡太八冠の聖地巡礼をしていたところ、太田さんから緊急事態ということで岐阜に飛んで行きました！

25M 梅田茂之



私は背伸びすると本当に疲れます。つい先日、喫茶店で何気にちびまる子ちゃん読んでいたら、「命にかかわること以外、どうでもいいことばっかじゃねえかよ」まるちゃんの父ヒロシがさらっと口にしていました。「ああ～！」ヒロシありがとう。本年度もどうぞよろしくお願ひ致します。

32M 増井勇一郎

発行日／2024年4月11日

責任者／飯沼義徳

発行／岐阜工業高等専門学校機械工学科同窓会「機巢会」編集室

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番地2

TEL 058-320-1343

<http://gifu-nct.com/>